UPOPOY
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK

Press Release

2026（令和8）年11月13日

報道機関各位

（公財）アイヌ民族文化財団

【世界40種類以上の毛皮に触れる特別体験】

「動物の毛皮に触ってみよう-アイヌ民族と北方先住民族の毛皮利用を知る・触る-」をウポポイで開催

～探検家・角幡唯介氏の特別講演や、ヒグマ対処法を学ぶ実践講座も～

公益財団法人アイヌ民族文化財団（札幌市中央区、常本照樹理事長）が運営するウポポイ（民族共生象徴空間）は、北海道立北方民族博物館と共催で2026年12月12日（土）・13日（日）の2日間、アイヌ民族および北方先住民族の毛皮文化を体感できる特別イベント「動物の毛皮に触ってみよう」を開催します。

本イベントでは、アイヌ民族をはじめ、北方先住民族が利用した貴重な動物の毛皮、全40種類以上に触れ・学ぶことができる特別体験のほか、北極圏の暮らしを知る探検家・作家 角幡唯介（かくはたゆうすけ）氏の特別講演、ヒグマやシカなど、野生動物管理・獣害対策をサポートする合同会社ワイルドライフプロ 葛西真輔（かさいしんすけ）氏、土屋誠一郎（つちやせいいちろう）氏によるヒグマとの遭遇対処法を学ぶ特別講座など、ウポポイならではの多彩なプログラムを実施します。

▼イベント概要

イベント名：動物の毛皮に触ってみようーアイヌ民族と北方先住民族の毛皮利用を知る・触るー
開　催　日：2026年12月12日（土）・13日（日）

▼主なプログラム

① 毛皮展示・体験コーナー

・会場：体験学習館
・日時：12月12日（土）10:00～16:00
　　12月13日（日）10:00～15:30
・内容：世界各地の貴重な動物の毛皮、全40種類以上に触れられる体験コーナー
・対象動物例：タテゴトアザラシ、ワモンアザラシ、ラッコ、ヒグマ、エゾタヌキ、エゾシカ、トナカイ、ヘラジカ、ホッキョクギツネ、アメリカビーバー、グリーンランドドッグ ほか

② クイズラリー「ワタシはダ～レ？？ーこの毛皮、だれかな？？ー」

・内容：毛皮の写真が並ぶクイズにチャレンジした方に動物シールをプレゼント
・備考：入退場自由、会場と時間は①と同様

③ 角幡唯介氏 特別講演「グリーンランドでの犬橇（いぬぞり）と狩猟」

・会場：多目的ホール
・形式：事前予約制（各回定員80名／90分）
・日時：12月12日（土）13:00～14:30
　　12月13日（日）10:30～12:00
・内容：探検家・作家の角幡唯介氏が、イヌイットの狩猟文化や自身の狩猟生活体験を通じて、現在進行形の北方民族の暮らしや文化についてお話します。
・申込み：Webフォーム（2次元コード）から事前予約、先着順

【お問合せ先】
（公財）アイヌ民族文化財団　民族共生象徴空間運営本部　誘客広報課　松橋
E-mail submit@ainu-upopoy.jp　TEL 0144-84-7318　FAX 0144-82-3685

④ 特別講座「クマにあったらどうするか？」

・会場：体験学習館（各回定員 50 名／60 分）

講座①「知床で羆と向き合うプロが教える出会わないコツ、出会った時の対処法」

日時：12 月 12 日（土）11:00～12:00
12 月 13 日（日）13:00～14:00

講師：葛西真輔氏（ワイルドライフプロ所属）

講座②「持っているだけでは身を守れない ― クマスプレーの選び方・持ち方・使い方」

日時：12 月 12 日（土）15:00～16:00
12 月 13 日（日）14:30～15:30

講師：葛西真輔氏、土屋誠一郎氏（ともに合同会社ワイルドライフプロ所属）

・備考：参加希望者は開始 10 分前までに会場へ直接来場

⑤ 展示「クマにあったらどうするか」著者 姉崎等氏のエピソードコーナー

・内容：「クマにあったらどうするか」（ちくま文庫）の著者である姉崎等氏の言葉を追体験する読み物空間をお楽しみください。

・会場：体験学習館（自由見学）

⑥ 先住民族のくらし（狩猟・漁撈等）を紹介する記録映像（全 7 タイトル）

・会場：多目的ホール（入退場自由、定員 80 名）

・日時：12 月 12 日（土）：①10:00～12:00　②15:00～15:50
12 月 13 日（日）：①13:00～15:50

※詳細は、特設ウポポイウェブサイトおよび別添チラシをご覧ください。
https://ainu-upopoy.go.jp/lp/animal_fur/

（特設ウェブサイト）

▼取材申込み

ウポポイウェブサイト「取材申込み」からお申し込みください。
https://ainu-upopoy.go.jp/inquiry/press/

【ウポポイ】日本の貴重な文化でありながら存立の危機にあるアイヌ文化の復興と創造等の拠点として 2020 年北海道白老町にオープン。正式名称は民族共生象徴空間。愛称「ウポポイ」は「（おおぜいで）歌うこと」を意味する。公益財団法人アイヌ民族文化財団が運営。ウポポイ公式ウェブサイト：https://ainu-upopoy.go.jp

【お問合せ先】
（公財）アイヌ民族文化財団　民族共生象徴空間運営本部　誘客広報課　松橋
E-mail submit@ainu-upopoy.jp　TEL 0144-84-7318　FAX 0144-82-3685